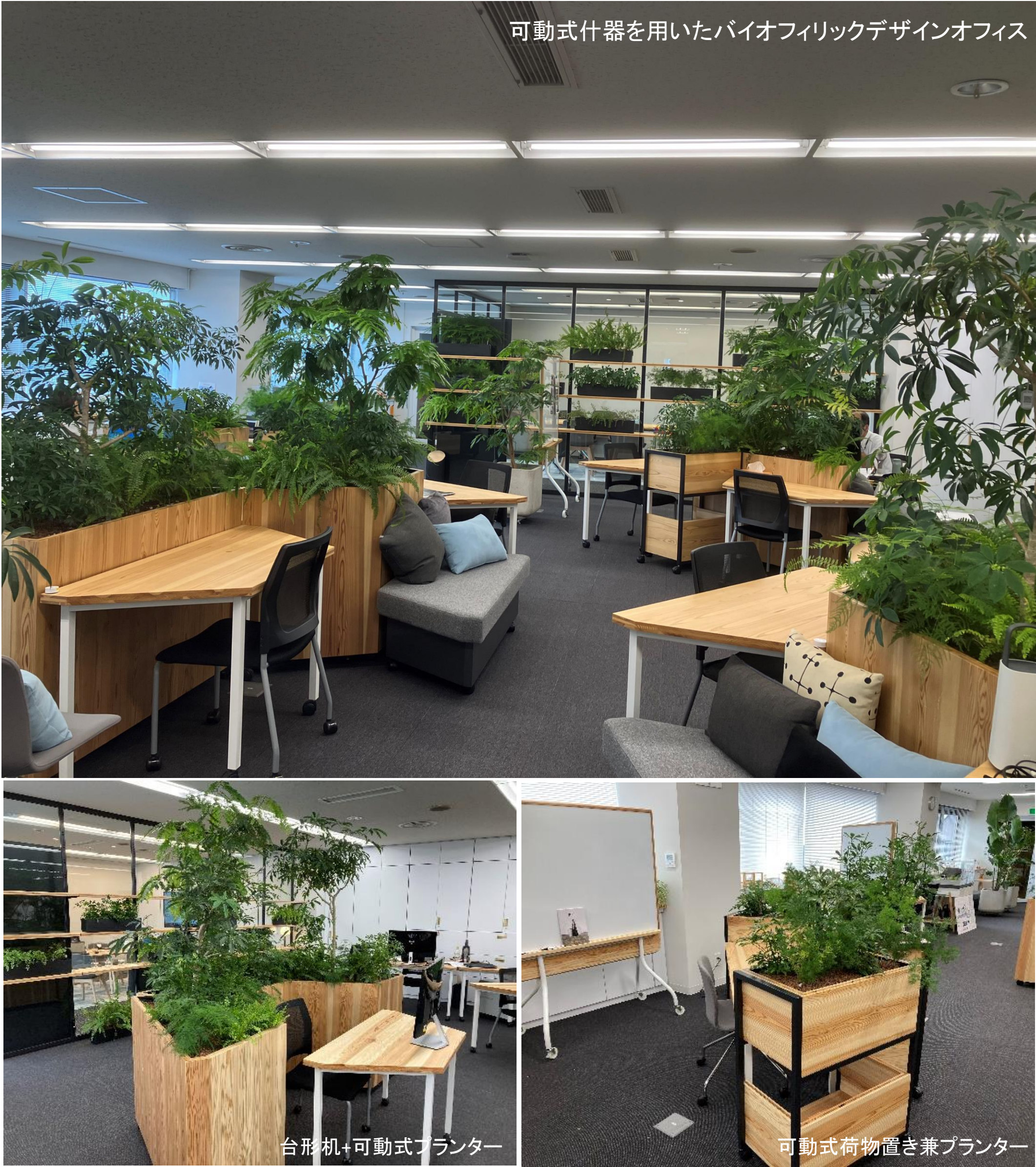
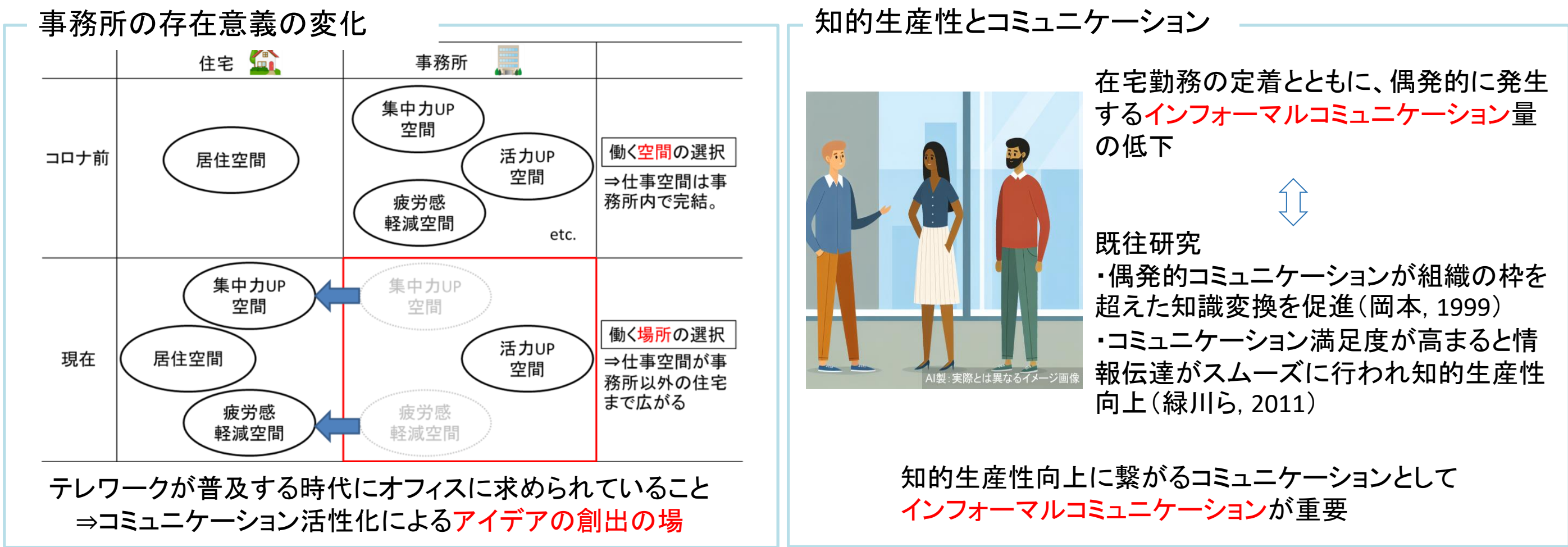


1. 研究概要



●研究背景・目的



バイオフィリックデザイン(バイオフィリアの概念を反映した空間デザイン)の一つである「オフィス緑化」という手法を用いて**新しい働き方にふさわしいオフィスを創出**

バイオフィリアとは「人間には“自然とつながりたい”という本能的欲求がある」という概念(1984Edward.O.Wilson)

作業内容や好みに合わせて多様なレイアウトを構築できる**可動式什器**



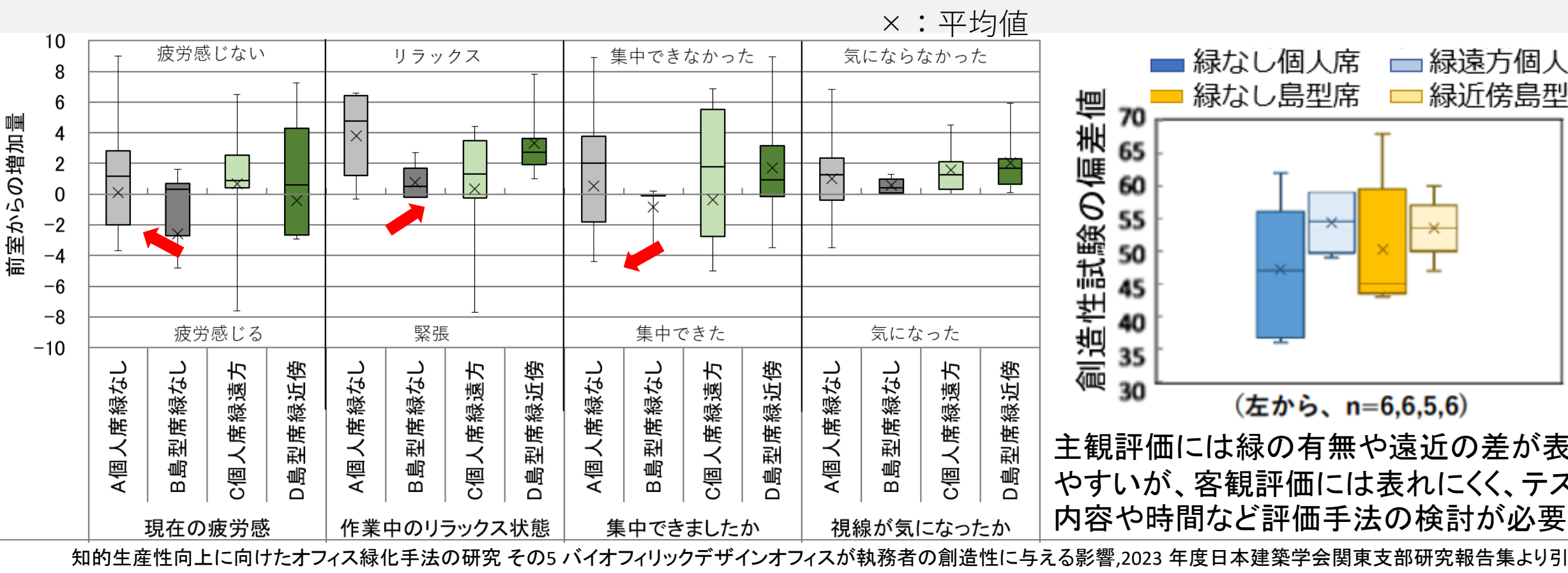
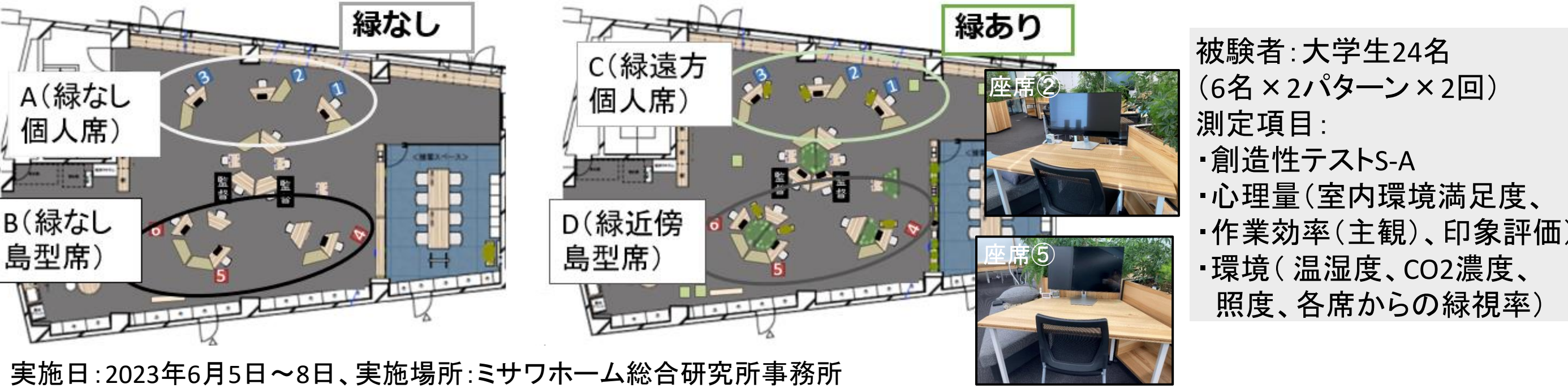
知的生産性向上に向けたオフィス緑化手法の研究のため、オフィス緑化が執務者に与える影響・効果を実証実験にて検証し、**定量的知見の蓄積**に取組む

- ・ リラックス感・疲労感
- ・ 創造性に与える影響
- ・ 会議室内のコミュニケーション
- ・ 社内全体のコミュニケーション

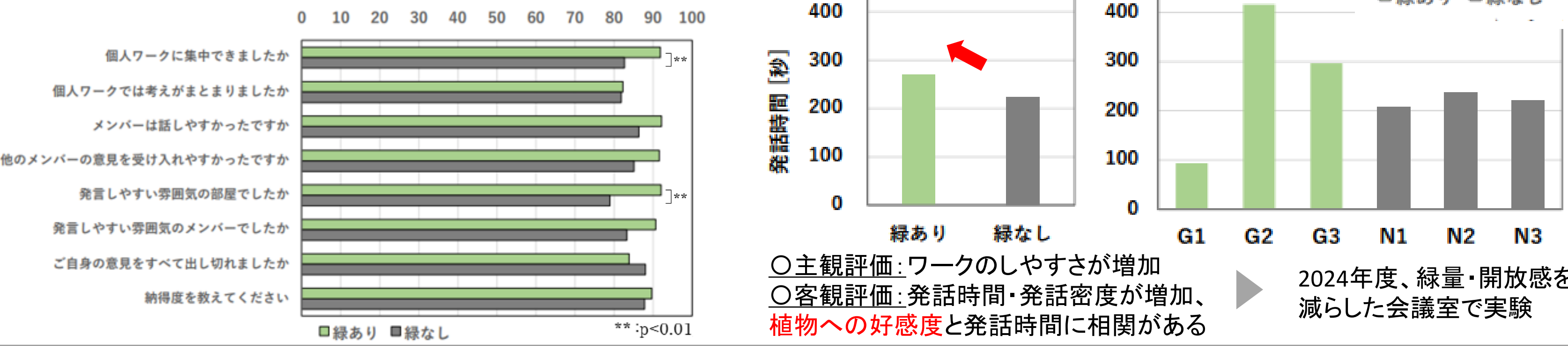
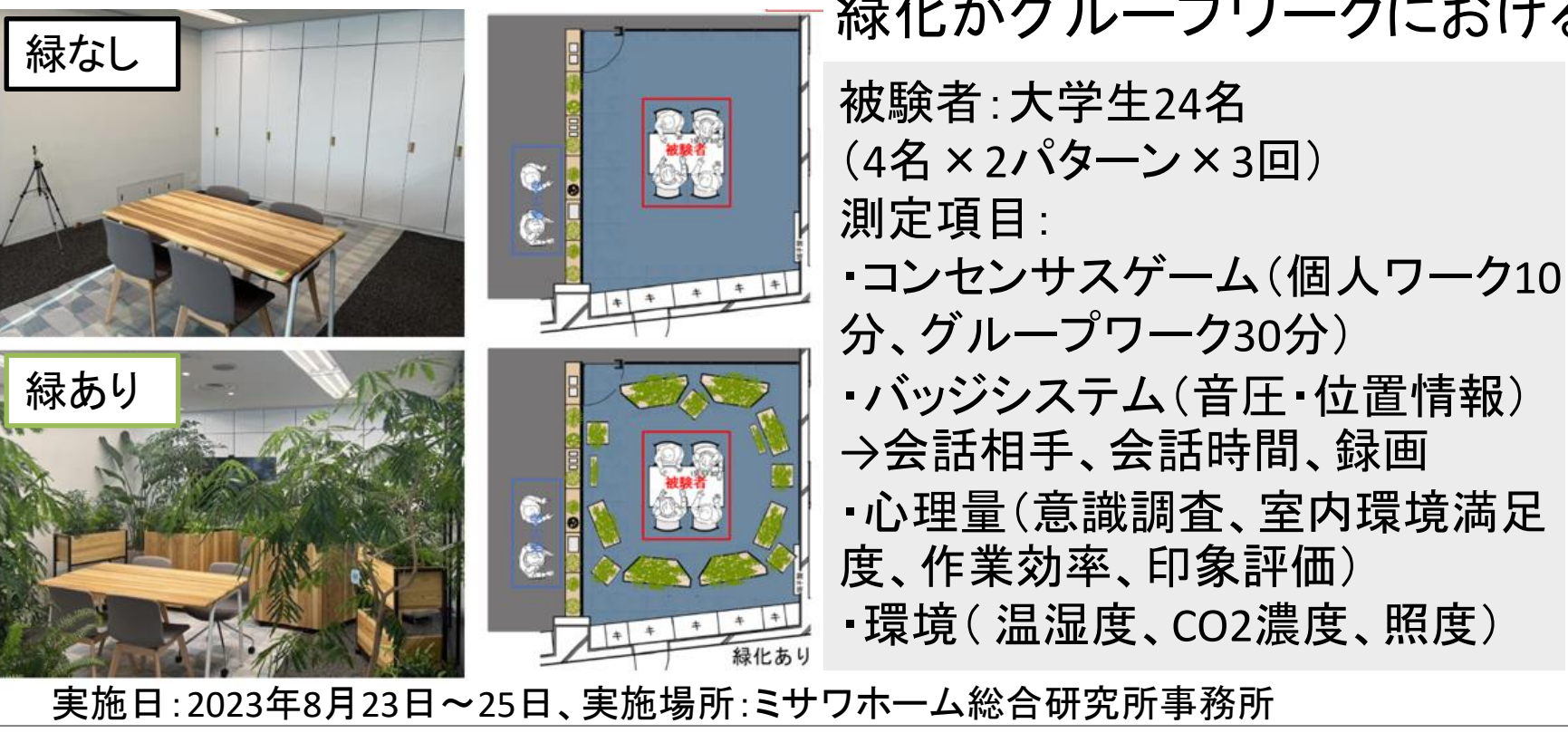
→オフィスの設計手法に加え、住宅にも取り入れられる指針づくりを目指す

2. 創造性に与える影響

植栽が遠方にある場合と近傍にある場合で創造性や作業のしやすさに影響が出るか

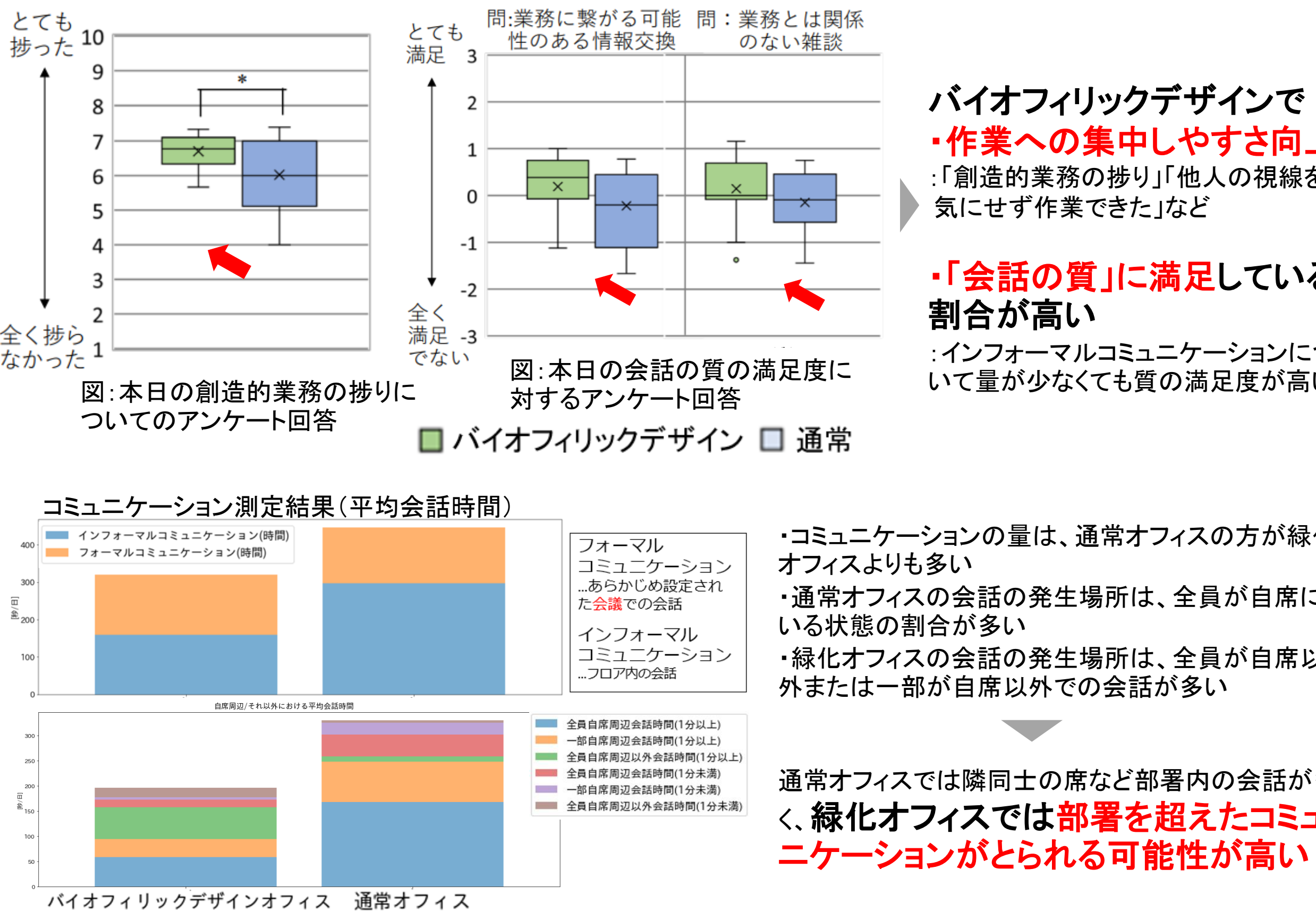


3. 会議室におけるコミュニケーションに与える影響



4. オフィスにおける執務者間のコミュニケーション活性化に与える影響

通常の勤務中における執務者間のインフォーマルコミュニケーションの実態を調査



5. まとめ・今後の展望

2022年～可動式の植栽什器を用いて、座席周辺の植栽配置方法、会議室の緑化有無、バイオフィリックデザインオフィス全体の影響について実証実験
→リラックス効果や生産性の向上、会話に対する効果を確認
→今後、ミサワホームの緑化オフィスの提案、住宅に効果的に取り入れる手法の提案につなげる